平成２１年度
（２００９年度）

港　区　予　算　概　要

一　般　会　計
国民健康保険事業会計
老人保健医療会計
後期高齢者医療会計
介　護　保　険　会　計

港　　区

＜新規・臨時・レベルアップの説明＞

(新規)　21 年度から新たに行う事業
(臨時(新規))　21 年度から新たに行う臨時的な事業(※)
(臨時(継続))　20 年度以前から行っている臨時的な事業(※)
※単年度または数年度に限り臨時的に行う事業
(レベルアップ)　20 年度以前から行っている事業で内容を充実・拡大する事業

・ 計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数整理をしていないため、合計等と一致しない場合があります。

目　　次

Ⅰ　平成21年度予算の概要 …… 1

1　平成21年度予算の概要（全体像） …… 2

2　最重点施策の取組み …… 4

3　港区基本計画事業の着実な実施 …… 11

4　将来を見据えた財政運営 …… 12

（1）区財政の状況 …… 12

（2）財政計画の策定 …… 13

（3）将来需要への対応と基金の有効活用 …… 14

（4）総合支所の地域特性を生かした予算 …… 15

Ⅱ　最重点施策 …… 17

1　人にやさしい支えあうまち …… 18

（1）厳しい社会情勢下における緊急雇用対策の推進 …… 18

（2）高齢者や障害者にやさしい生活環境の整備 …… 19

（3）社会全体で支えあう子育て支援の充実 …… 23

（4）子どもたちの個性を伸ばす魅力ある教育の推進 …… 25

2　誰もが安全で安心な都心生活が送れるまち …… 27

（1）都心区ならではの災害対策の充実 …… 27

（2）快適な都心生活のための環境づくりや都市基盤の整備 …… 29

（3）区民が健やかに安心して暮らせるまち …… 33

3　参画と協働により地域の活力があふれるまち …… 36

（1）緊急経済対策と地域経済の活性化 …… 36

（2）区民とともに取り組む地域のまちづくり …… 37

（3）文化・芸術に親しみ、国際性豊かな地域社会の実現 …… 44

Ⅲ　財政規模 …… 47

1　総　括 …… 48

2　一般会計 …… 49

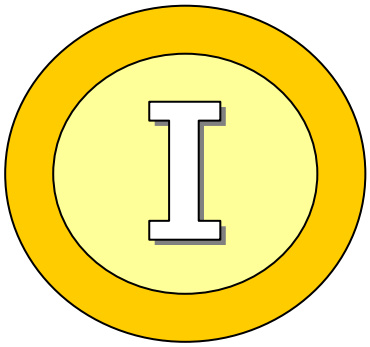
（1）　歳　入 …… 49

（2）　目的別歳出 …… 50

（3）　性質別歳出 …… 51

３　国民健康保険事業会計 ………………………………………………… 52
４　老人保健医療会計 ……………………………………………………… 53
５　後期高齢者医療会計 …………………………………………………… 54
６　介護保険会計 …………………………………………………………… 55

Ⅳ　参考資料 ………………………………………………………………… 57
１　事業一覧 ………………………………………………………………… 58
２　新規補助金一覧 ………………………………………………………… 76
３　平成 21 年度開設予定施設等一覧 ……………………………………… 77
４　平成 21 年度予算編成方針 ……………………………………………… 78



平成21年度
予算の概要

平成21年度予算の概要（全体像）

『「人にやさしい創造的な地域社会」を実現するための予算』

予算編成の基本方針

1　区民の参画と協働により、地域に根ざした事業を創出するとともに、各種事業について、区民一人ひとりのライフステージに応じたきめ細かなサービスとなるよう創意工夫し、区民生活のすみずみまで目の行き届いた、港区ならではの質の高い行政サービスを提供します。

2　次期港区基本計画の初年度にあたり、分野別計画及び地区版計画書に計上する事業を着実に推進できるよう予算化します。

3　総合支所においては、区民とともにより主体的に、地域の課題解決や地区の計画策定に取り組むことができるよう、経常事業及び地域事業について、予算枠配分方式を導入します。

4　区民の安全・安心の確保を最優先事項とし、災害に強いまちづくりを推進するとともに、区有施設や各種行政サービスの安全・安心の確保策に引き続き取り組みます。

5　将来のいかなる社会経済状況の変化にも柔軟に対応し、港区ならではの施策を継続して推進していくため、「最少の経費で最大の効果」の基本原則を踏まえ、区民の視点で施策の徹底した見直しを図り、後年度負担にも十分配慮するとともに、人件費の圧縮、経常的経費の節減などの不断の内部努力を徹底します。

港区基本計画事業の着実な実施

分野別計画	◇かがやくまち　（街づくり・環境）	32事業	87億861万円
	◇にぎわうまち　（コミュニティ・産業）	7事業	5億4,535万円
	◇はぐくむまち　（福祉・保健・教育）	31事業	203億6,154万円
地区版計画書		50事業	2億6,704万円
	◇実現をめざして	6事業	1億4,665万円
計		126事業	300億2,919万円

将来を見据えた財政運営

厳しい社会経済情勢にある今こそ、これまで蓄えてきた財政の力を活用して、緊急経済対策や未来を担う子どもたちのための区有施設の改築などに積極的に取り組み、区民福祉の向上のための施策を推進することで、区民の皆さんに還元します。

人件費の圧縮や経常経費の節減等に取り組むなど、不断の内部努力を徹底し、将来世代に過度な負担を残さない長期的視点にたった財政運営を行い、磐石な財政基盤を維持します。

≪財政計画の策定≫
より一層簡素で効率的な財政運営に向けて6年間の財政計画を策定します。

≪基金の有効活用≫
区有施設の改築等を着実に実施するため、基金の有効活用に努めます。

≪総合支所の地域特性を生かす予算編成≫
新たな予算編成手法を導入し、地域特性を生かした予算を実現します。

総額
1,674億
268万円

新規事業数	35
臨時事業数 （うち新規） （うち継続）	83 (39) (44)
レベルアップ事業数	52
地域事業数 （うち新規） （うちレベルアップ）	22 (19) (3)

最重点施策

平成21年度予算のポイント

これまで蓄えてきた力を厳しい社会情勢への対応や区民サービスに還元する積極型予算

1　人にやさしい支えあうまち

(1) 厳しい社会情勢下における緊急就労支援の推進
・緊急不況対策臨時職員雇用　・緊急就労支援
・訪問介護事業所就職時支度金助成事業　・若者の就業体験

(2) 高齢者や障害者にやさしい生活環境の整備
・仮称南麻布四丁目高齢者保健福祉施設整備　・介護予防事業の充実
・通院支援サービス事業　・重度身体障害児学校送迎支援
・精神障害者･知的障害者ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ設置等支援　・社会福祉法人等運営助成

(3) 社会全体で支えあう子育て支援の充実
・芝、麻布、高輪、芝浦港南地区子ども中高生プラザ等建設
・芝公園保育園等改築　・仮称三田四丁目保育園建設　・待機児童解消特別事業

(4) 子どもたちの個性を伸ばす魅力ある教育の推進
・魅力ある校舎・園舎等の整備　・小中一貫校の設置
・私立幼稚園保護者補助金　・新教育センター整備

5頁・18頁参照

2　誰もが安全で安心な都心生活が送れるまち

(1) 都心区ならではの災害対策の充実
・建築物の耐震改修等促進　・高層住宅等の震災対策
・雨水浸透施設整備費助成　・災害対策本部・各地区本部機能の強化
・各地区防災知識普及・啓発　・帰宅困難者支援マップの作成

(2) 快適な都心生活のための環境づくりや都市基盤の整備
・田町駅東口北地区公共公益施設整備　・都市計画公園の整備
・新規コミュニティバス実証運行　・みなとタバコルール推進
・区有施設省エネルギー化　・緑と水に関する施策検討

(3) 区民が健やかに安心して暮らせるまち
・新型インフルエンザ対策の推進　・在宅緩和ケア支援
・仮称暫定健診施設維持管理　・周産期医療・小児医療連携協議会
・消費者力検定講座　・消費者カレッジステップアップ講座

7頁・27頁参照

3　参画と協働により地域の活力があふれるまち

(1) 緊急経済対策と地域経済の活性化
・緊急保証制度認定・相談窓口強化　・緊急支援融資信用保証料全額補助
・コミュニティ・ビジネス支援　・商店街・地方都市関係強化
・仮称産業振興センター整備　・産業デザイン活用支援

(2) 区民とともに取り組む地域のまちづくり
＜総合支所地域事業＞
・芝地区バス停を起点とした散策マップの設置
・麻布地区災害時セーフティネット構築事業
・赤坂地区赤坂・青山歴史、文化、芸術のまちづくり事業
・高輪地区ハイブリッド発電灯ほかの設置
・芝浦港南地区港区ベイエリアマップの作成・配布

(3) 文化・芸術に親しみ、国際性豊かな地域社会の実現
・麻布図書館改築　・青山地域における図書サービスの充実
・ラグビージュニアワールドチャンピオンシップ協働事業
・文化芸術フェスティバル　・国際化推進プランの策定

9頁・36頁参照

２ 最重点施策の取組み

区は、『区民の誰もが誇りに思えるまち・港区』の実現を掲げ、区民に信頼され、区民の身近にあって、区民の誇りを創造する区政運営を基本姿勢とし、『人にやさしい創造的な地域社会』の実現を目指します。

平成 21 年度予算は、厳しい社会経済情勢下において、これまで蓄えてきた財政の力を活用し、緊急経済対策や未来を担う子どもたちのための区有施設の改築など、区民福祉の向上を積極的に推進する予算として編成しました。

また、特に早急に取り組む必要がある施策として「人にやさしい支えあうまち」、「誰もが安全で安心な都心生活が送れるまち」、「参画と協働により地域の活力があふれるまち」の３つの施策を最重点施策と位置づけました。

○ 平成 21 年度最重点施策

施　策　名	事業数	予算額
1　人にやさしい支えあうまち	47 事業	387 億 8,192 万円
（1）厳しい社会情勢下における緊急就労支援の推進	6 事業	1 億 5,095 万円
（2）高齢者や障害者にやさしい生活環境の整備	23 事業	35 億　757 万円
（3）社会全体で支えあう子育て支援の充実	13 事業	160 億 8,634 万円
（4）子どもたちの個性を伸ばす魅力ある教育の推進	5 事業	190 億 3,706 万円
2　誰もが安全で安心な都心生活が送れるまち	48 事業	56 億 4,559 万円
（1）都心区ならではの災害対策の充実	12 事業	6 億 2,618 万円
（2）快適な都心生活のための環境づくりや都市基盤の整備	23 事業	34 億 5,290 万円
（3）区民が健やかに安心して暮らせるまち	13 事業	15 億 6,651 万円
3　参画と協働により地域の活力があふれるまち	28 事業	12 億 3,627 万円
（1）緊急経済対策と地域経済の活性化	11 事業	4 億 4,610 万円
（2）区民とともに取り組む地域のまちづくり	8 事業	6 億 1,260 万円
（3）文化・芸術に親しみ、国際性豊かな地域社会の実現	9 事業	1 億 7,757 万円
合　計	123 事業	456 億 6,378 万円

＜ 最重点施策 ＞

１　人にやさしい支えあうまち　　387 億 8,192 万円

区は、区民の誰もが夢と希望を持ち、毎日をいきいきと充実して送ることができるよう、緊急就労支援の推進、高齢者や障害者にやさしい生活環境の整備、子育て支援の充実と子どもたちの個性を伸ばす魅力ある教育の推進に積極的に取り組み、人にやさしい地域社会を実現します。

（１） 厳しい社会情勢下における緊急就労支援の推進（18 頁）

1 億 5,095 万円

緊急不況対策臨時職員雇用 臨時(新規)	5,286 万円
緊急就労支援 臨時(新規)	1,975 万円
六本木駅周辺ごみ不法投棄深夜警戒 臨時(新規)	1,129 万円

ホームヘルパー２級養成研修受講助成 臨時(新規)	216 万円
訪問介護事業所就職時支度金助成事業 臨時(新規)	1,000 万円
若者の就業体験 レベルアップ	5,489 万円

（２） 高齢者や障害者にやさしい生活環境の整備（19～23 頁）

35 億　757 万円

通院支援サービス事業 新規	556 万円
介護人材育成支援事業 新規	1,019 万円
重症心身障害児通所事業 新規	2,726 万円
重度身体障害児学校送迎支援 新規	1,288 万円
精神障害者・知的障害者グループホーム設置等支援 新規 レベルアップ	2,373 万円
保健福祉施策ガイドブック作成 臨時(新規)	764 万円
西麻布福祉会館等改築 臨時(新規)	2 億 4,927 万円

高輪福祉会館等改築 臨時(継続)	6 億 3,908 万円
特別養護老人ホーム白金の森改修 臨時(継続)	1 億 1,727 万円
仮称南麻布四丁目高齢者保健福祉施設整備 臨時(継続)	17 億 9,355 万円
新たな保養施設等の借上げ（後期高齢者医療会計） レベルアップ	769 万円
無料健康相談の拡充（後期高齢者医療会計） レベルアップ	346 万円
健康度測定に係る費用助成（後期高齢者医療会計） レベルアップ	63 万円
介護予防事業の充実 レベルアップ	8,122 万円（一般会計） 6,229 万円（介護保険会計）

介護予防プロジェクト (レベルアップ)	5,038 万円
高齢者・障害者配食サービス (レベルアップ)	6,511 万円
高齢者の地域におけるセーフティネットワークの構築 (レベルアップ)	543 万円
社会福祉法人等運営助成 (レベルアップ)	1 億 6,424 万円
介護サービス事業者振興事業 (レベルアップ)	1,421 万円

介護給付適正化事業（介護保険会計) (レベルアップ)	2,195 万円
重度障害者（児）日常生活用具給付 (レベルアップ)	4,582 万円
障害者（児）福祉タクシー助成 (レベルアップ)	8,774 万円
障害者（児）自動車燃料費助成 (レベルアップ)	1,097 万円

（３） 社会全体で支えあう子育て支援の充実（23～25 頁）160 億 8,634 万円

家庭相談センター事業 (新規)	2,249 万円
ひきこもり対策 (新規)	25 万円
芝公園保育園等改築 (臨時(新規))	1,710 万円
麻布地区子ども中高生プラザ等建設 (臨時(新規)) (臨時(継続))	128 億 2,698 万円
芝地区子ども中高生プラザ等建設 (臨時(継続))	5 億 2,137 万円
高輪地区子ども中高生プラザ等建設 (臨時(継続))	3 億 6,702 万円
芝浦港南地区子ども中高生プラザ等建設 (臨時(継続))	9 億 63 万円

仮称三田四丁目保育園建設 (臨時(継続))	6,720 万円
次世代育成支援対策行動計画 (臨時(継続))	1,304 万円
待機児童解消特別事業 (臨時(継続))	7 億 7,038 万円
待機家庭等支援一時保育 (レベルアップ)	1,380 万円
出産費用の助成 (レベルアップ)	2 億 8,779 万円
放課後児童（健全）育成 (レベルアップ)	2 億 7,829 万円

（４） 子どもたちの個性を伸ばす魅力ある教育の推進（25・26 頁）

190 億 3,706 万円

小中一貫校の設置 (臨時(新規)) (臨時(継続))	1,891 万円
新教育センター整備 (臨時(新規))	1 億 350 万円
芝浦小学校等用地取得 (臨時(新規))	36 億 8,442 万円

魅力ある校舎・園舎等の整備 (臨時(継続))	149 億 270 万円
私立幼稚園保護者補助金 (レベルアップ)	3 億 2,753 万円

２　誰もが安全で安心な都心生活が送れるまち　　56 億 4,559 万円

区民の誰もが安全で安心して暮らせるよう、災害対策の充実、快適な都心生活のための環境づくりや都市基盤の整備に取り組むとともに、区民が健やかに安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

（１）　都心区ならではの災害対策の充実（27・28 頁）　　6 億 2,618 万円

高層住宅等の震災対策 新規	1,167 万円
災害対策職務住宅の設置 新規	1,782 万円
雨水浸透施設整備費助成 新規	2,480 万円
建築物の耐震改修等促進 新規 レベルアップ	2 億 9,926 万円
各地区防災知識普及・啓発 臨時(新規)	1,399 万円
事業継続計画（ＢＣＰ）等の策定 臨時(新規)	2,423 万円

災害対策本部・各地区本部機能の強化 臨時(新規)	525 万円
帰宅困難者支援マップの作成 臨時(新規)	708 万円
マンホールトイレ整備 臨時(継続)	7,238 万円
備蓄物資整備 レベルアップ	1 億 2,626 万円
駅周辺滞留者対策訓練の実施 レベルアップ	1,906 万円
水害予防措置 レベルアップ	438 万円

（２）　快適な都心生活のための環境づくりや都市基盤の整備（29～33 頁）

34 億 5,290 万円

資源持去り防止パトロールの実施 新規	546 万円
新規コミュニティバス実証運行 新規	1 億 9,530 万円
自転車利用環境整備促進 新規	1,015 万円
地籍調査 新規	49 万円
後付アイドリングストップ装置導入補助 新規	90 万円
地上デジタル放送移行支援 新規	3,221 万円
緑と水に関する施策検討 新規 臨時(新規)	1,191 万円

資源化センター等機能再編整備 臨時(新規)	3,511 万円
環状２号線周辺等のまちづくり検討 臨時(新規) 臨時(継続)	3,974 万円
景観形成特別地区屋外広告物適正化支援 臨時(新規)	3 億 9,138 万円
景観計画策定 臨時(継続)	1,544 万円
次世代電気自動車の購入 臨時(新規)	506 万円
区有施設省エネルギー化 臨時(新規)	2,936 万円
浜松町駅東西自由通路整備 臨時(継続)	1 億 8,480 万円

仮称こうなん星の公園自転車駐車場整備 (臨時(継続))	5 億 7,641 万円
電線類地中化推進 (臨時(継続))	4 億 4,464 万円
都市計画公園の整備 (臨時(継続))	5 億 3,817 万円
田町駅東口北地区公共公益施設整備 (臨時(継続))	6 億 8,532 万円
大規模事業所ごみ排出指導 (レベルアップ)	1,173 万円

自然エネルギー利用促進事業 (レベルアップ)	1,575 万円
緑のカーテンプロジェクト (レベルアップ)	2,391 万円
みなと環境にやさしい事業者会議 (レベルアップ)	960 万円
みなとタバコルール推進 (レベルアップ)	1 億 9,006 万円

（３） 区民が健やかに安心して暮らせるまち（33～35 頁）15 億 6,651 万円

消費者力検定講座 (新規)	43 万円
消費者カレッジステップアップ講座 (新規)	124 万円
子ども安全･安心ワークショップ (新規)	239 万円
新型インフルエンザ対策の推進 (新規) (臨時(新規))	3,301 万円
仮称暫定健診施設維持管理 (臨時(新規))	9,831 万円
周産期医療･小児医療連携協議会 (臨時(新規))	66 万円
みなと保健所改築 (臨時(継続))	8 億 7,063 万円

在宅緩和ケア支援 (臨時(継続))	3,079 万円
みんなとパトロール (レベルアップ)	1 億 7,490 万円
住宅用火災警報器設置支援 (レベルアップ)	1,700 万円
交通安全運動 (レベルアップ)	1,411 万円
予防接種事業 (レベルアップ)	3 億 1,780 万円
健康教育 (レベルアップ)	524 万円

３　参画と協働により地域の活力があふれるまち　　12 億 3,627 万円

港区に住み、働き、学び、活動する人たちの区政への参画や協働により、地域経済の活性化や地域のまちづくりに取り組むとともに、文化・芸術に親しみ、国際性豊かな創造的な地域社会を実現します。また景気が悪化する中、緊急経済対策に取り組みます。

（１）　緊急経済対策と地域経済の活性化（36・37 頁）　　4 億 4,610 万円

コミュニティ・ビジネス支援 新規	473 万円
永年継続事業者優遇金利制度の創設 新規	120 万円
商店街･地方都市関係強化 新規	243 万円
仮称産業振興センター整備 臨時(継続)	2,566 万円
緊急保証制度認定・相談窓口強化 臨時(継続)	845 万円
緊急支援融資信用保証料全額補助 臨時(継続)	3,281 万円

産業デザイン活用支援 レベルアップ	748 万円
中小企業リフレッシュ出前相談プロジェクト レベルアップ	412 万円
区内共通商品券発行支援 レベルアップ	4,930 万円
にぎわい商店街事業 レベルアップ	1 億 7,014 万円
勤労福祉会館管理運営 レベルアップ	1 億 3,978 万円

（２）　区民とともに取り組む地域のまちづくり（37～44 頁）

6 億 1,260 万円

芝地区総合支所地域事業	4,401 万円
麻布地区総合支所地域事業	4,860 万円
赤坂地区総合支所地域事業	4,535 万円
高輪地区総合支所地域事業	5,748 万円
芝浦港南地区総合支所地域事業	7,587 万円

仮称芝五丁目多目的室 新規 臨時(新規)	3 億 2,367 万円
アンカレイジ展望室等活用事業 新規	1,742 万円
地区教育会議 新規	20 万円

（３） 文化・芸術に親しみ、国際性豊かな地域社会の実現（44・45 頁）

1 億 7,757 万円

文化芸術フェスティバル 新規	821 万円
多言語対応医療手帳の作成 新規	271 万円
青山地域における図書サービスの充実 新規	2,297 万円
ラグビージュニアワールドチャンピオンシップ協働事業 臨時(新規)	1,000 万円
ラグビーを生かしたスポーツ振興 臨時(新規)	664 万円

国際化推進プランの策定 臨時(継続)	1,761 万円
麻布図書館改築 臨時(継続)	9,892 万円
ふれあいアート レベルアップ	915 万円
ＮＰＯ支援・協働推進 レベルアップ	136 万円

３ 港区基本計画事業の着実な実施

平成 21 年２月に策定した、港区基本計画（平成 21 年度～平成 26 年度）の初年度として、計画計上事業の着実な実施に向け、港区ならではの質の高い行政サービスを提供する予算措置を行いました。

○ 平成 21 年度実施計画事業

分野別計画及び地区版計画書の施策を、下記のとおり予算化しました。

基本計画上の位置づけ			事業数	事業費
分野別計画	Ⅰ かがやくまち	都心の活力と安全・安心・快適な暮らしを支えるまちをつくる	22事業	84億5,427万円
		環境にやさしい都心をみなで考えつくる	10事業	2億5,434万円
		合　計	32事業	87億861万円
	Ⅱ にぎわうまち	地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくる	1事業	1,315万円
		港区からブランド性のある産業・文化を発信する	6事業	5億3,221万円
		合　計	7事業	5億4,535万円
	Ⅲ はぐくむまち	明日の港区を支える子どもたちを育む	9事業	164億8,310万円
		生涯を通じた心ゆたかで健康な都心居住を支援する	22事業	38億7,844万円
		合　計	31事業	203億6,154万円
地区版計画書			50事業	2億6,704万円
実現をめざして		基本構想に基づく諸施策の実効性を担保する	1事業	3,898万円
		行財政改革を推進する	5事業	1億767万円
		合　計	6事業	1億4,665万円
総合計			126事業	300億2,919万円

４　将来を見据えた財政運営

（１）区財政の状況

区の財政状況は、歳入の根幹をなす特別区民税収入が、国の三位一体改革の影響により平成 19 年度決算において８年ぶりに減収に転じたものの、人口の増加や他の自治体に先駆けて実施してきた財政健全化の取組みなどにより、財政の弾力性を示す経常収支比率は、現在は良好な状況を維持しています。

しかし、我が国の景気の動向は、昨年９月の米国発の世界的な金融危機が深刻さを増す中、企業収益の大幅な減少や雇用の大幅な調整により、さらに悪化する可能性があります。また、国の地方分権改革の動きや地方間の財政力格差是正に向けた地方税改革の動向など、区財政を取り巻く状況は極めて不透明なものとなっています。

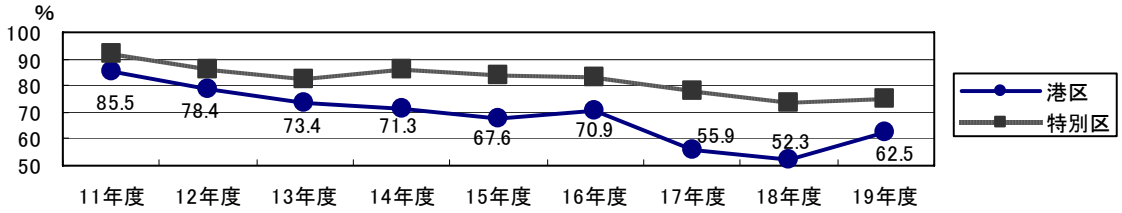
区はこれまで、いかなる社会経済情勢においても港区ならではの質の高い行政サービスを安定的に提供できるよう、不断に行財政改革に取り組むとともに、計画的に基金を積み立ててきました。

厳しい社会経済情勢にある今こそ、これまで蓄えてきた財政の力を活用して、緊急経済対策や未来を担う子どもたちのための区有施設の改築などに積極的に取り組み、区民福祉の向上のための施策を推進することで、区民の皆さんに還元します。

また、人件費の圧縮や経常経費の節減等に取り組むとともに、施設建設にあたっては、ライフサイクルコストを的確に分析した上で後年度負担にも十分配慮するなど不断の内部努力を徹底し、将来世代に過度な負担を残さない長期的視点にたった財政運営を行い、磐石な財政基盤を維持していきます。

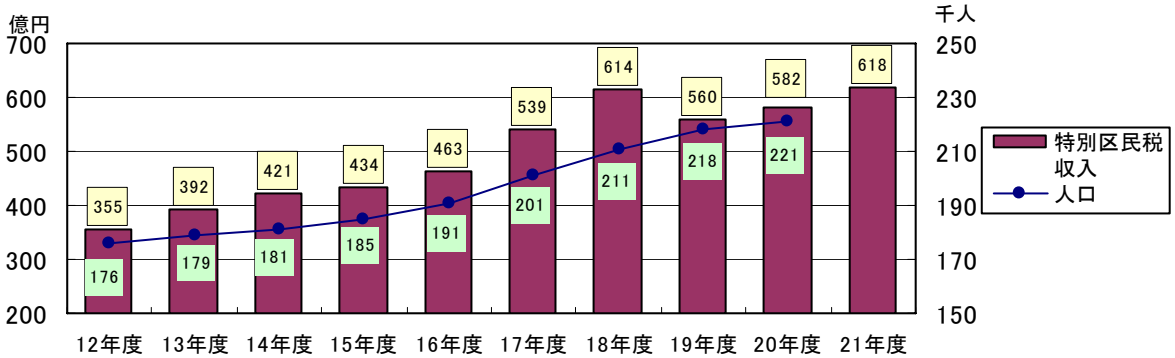
○　経常収支比率の推移

財政の弾力性をあらわす経常収支比率は、70～80％が適正な水準といわれており、区の経常収支比率は、平成 12 年度から８年続けて良好な状況を維持しています。



○　特別区民税収入及び人口の推移

特別区民税収入は、19 年度は減収となりましたが、20 年度は増加に転じ、21 年度当初予算は、景気後退の影響はあるものの、人口の増加等による伸びにより、20 年度当初予算と比較して 36 億円の増と見込みました。しかしながら、今後の景気の動向は極めて不透明であり、予断を許さない状況です。



※特別区民税収入は、12～19 年度は決算額、20～21 年度は当初予算額です。

※人口は各年度末現在数で外国人登録者を含みます。20 年度は 21 年１月１日現在数です。

（２） 財政計画の策定

区では、平成 21 年 2 月に港区基本計画（平成 21 年度～平成 26 年度）を策定しました。

基本計画の実効性を高めるとともに、より一層簡素で効率的な財政運営を計画的に行っていくため、財政計画（平成 21 年度～平成 26 年度）を策定しました。

○ 財政計画表

（単位：百万円）

区　分	前　期			後　期	合　計
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	(平成24～26年度)	
歳入総額	132,329	105,590	115,125	391,480	744,524
一般財源	82,055	81,481	81,975	255,590	501,101
特別区税	66,677	68,000	68,494	215,147	418,318
その他	15,378	13,481	13,481	40,443	82,783
特定財源	50,274	24,109	33,150	135,890	243,423
国庫支出金	6,949	6,342	6,729	24,322	44,341
都支出金	4,100	3,792	3,612	12,119	23,623
特別区債	0	0	0	20,000	20,000
繰入金	28,440	4,290	13,126	50,397	96,254
その他	10,785	9,684	9,684	29,052	59,205
歳出総額	132,329	105,590	115,125	391,480	744,524
義務的経費	35,695	35,008	34,914	106,187	211,804
人件費	22,916	21,962	21,621	63,630	130,129
扶助費	11,231	11,523	11,823	37,002	71,580
公債費	1,547	1,523	1,470	5,554	10,095
投資的経費	51,444	21,656	27,977	106,822	207,900
その他経費	45,190	48,925	52,234	178,471	324,820

○ 将来世代に過度な負担を残さない財政計画

基本計画期間（平成 21 年度～平成 26 年度）では、区民の安全・安心のための区有施設の改築や田町駅東口北地区公共公益施設の整備など、一時期に多額の経費を必要とする大規模な施設建設を計画しています。

港区財政運営方針に基づき、これまで計画的に積み立ててきた基金を有効に活用するとともに、標準財政規模の５％以内とする区債発行基準に基づいた区債発行により、将来世代に過度な負担を残すことがないよう財政計画を定めています。

（３） 将来需要への対応と基金の有効活用

区は、これまで、財政構造改革や職員定数削減をはじめとする数々の行財政改革を行い簡素で効率的な区政運営に努めるとともに、将来の財政需要の増加に備え、基金を計画的に積み立ててきました。

今後、景気悪化による区財政への影響が懸念される一方で、区民の安全・安心の確保や未来を担う子どもたちのための区有施設の整備など、大幅な財政需要が見込まれます。

いかなる社会経済情勢においても、区民の不安を払拭し将来に明るい希望が持てるよう、これまで計画的に積み立ててきた基金を積極的に活用することによって、港区ならではの質の高い行政サービスの提供に努めていきます。

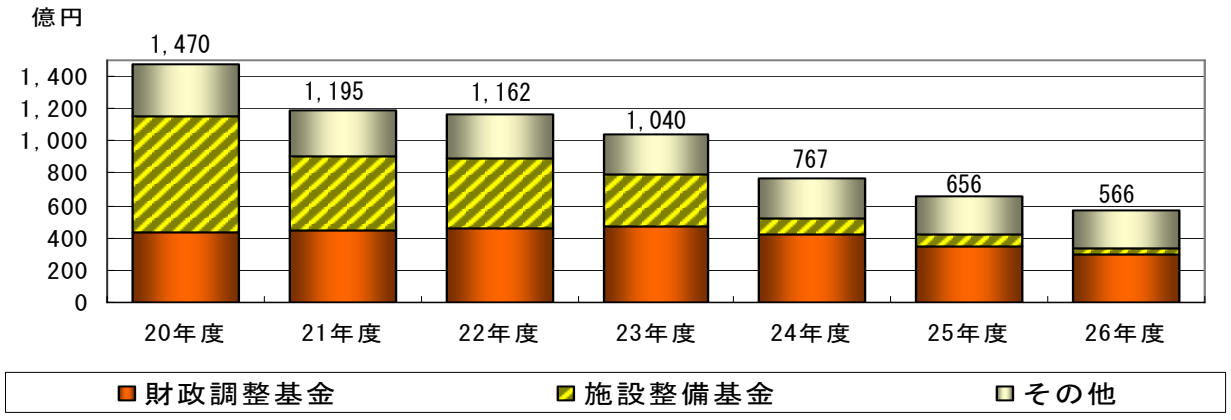
○ 基金活用状況と基金残高

区は、港区基本計画期間（平成 21 年度～平成 26 年度）の施設計画計上事業などに、基金を積極的に活用し、計画計上事業を着実に実施していきます。

＜21 年度基金活用状況＞

区分		基金充当事業	繰入額
施設整備	公共施設等整備基金	麻布地区子ども中高生プラザ等用地取得など	131 億円
	教育施設整備基金	芝浦小学校等用地取得、港南小学校等改築など	110 億円
	高齢者福祉施設等整備基金	仮称南麻布四丁目高齢者保健福祉施設整備	15 億円
その他	定住促進基金	港南四丁目地区街区再編整備、電線類地中化推進など	15 億円
	安全安心施設対策基金	小・中学校施設改修、区営住宅維持管理など	7 億円
	地球温暖化等対策基金	みなと区民の森づくり、各地区緑化助成など	3 億円
	震災対策基金	木造・非木造建築物耐震改修等促進	1 億円
	文化芸術振興基金	まち探訪事業、文化芸術活動助成など	1 億円
	その他	奨学資金貸付、介護予防プロジェクトなど	2 億円
合計		―	284 億円

＜今後の基金残高見込み＞



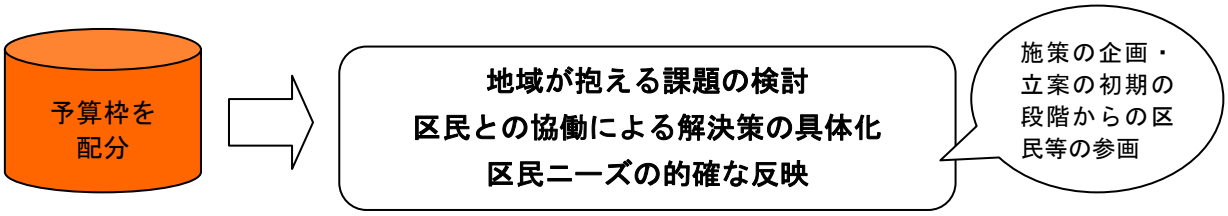
（４）総合支所の地域特性を生かした予算

平成 18 年４月にスタートした「区役所・支所改革」は、取り組みから３年目を迎え、着実な成果をあげています。
区民の参画と協働により地域の課題解決に主体的に取り組み、地域の自主性、自立性を高めていくため、平成 21 年度予算から総合支所に新たな予算編成手法を導入しました。

○　総合支所への新たな予算編成手法の導入

区は、平成 19 年度予算から、区民とともに企画・立案し、地域の魅力を高め地域特性に応じて取り組む地域事業を創出するための予算枠を総合支所ごとに配分してきました。

平成 21 年度予算では、経常的経費及び地域事業について、総合支所の新たな予算編成手法として予算枠配分方式を導入しました。



○　経常的経費予算枠

経常的経費については、総合支所ごとに単年度の予算枠を配分します。

また、予算枠の配分にあたっては、総合支所の創意工夫による事業手法等の見直しなど、予算の執行段階での節減努力を予算枠に加算するしくみを新たに取り入れています。

○　地域事業予算枠

地域事業については、総合支所が区民とともに、主体的に地域の施策に取り組めるよう、基本計画の地区版計画書の計画期間に合わせて平成 21 年度から平成 23 年度までの３年間の予算枠（一般財源枠及び基金枠）を配分しています。

また、基金枠については、対象基金を４基金（子育て王国基金、高齢者安心定住基金、地球温暖化等対策基金、文化芸術振興基金）に拡大し、充実を図っています。

（単位：千円）

区　　分	平成21年度～平成23年度予算枠		
	一般財源枠	基金枠	合計
芝地区総合支所	90,000	69,463	159,463
麻布地区総合支所	99,000	101,069	200,069
赤坂地区総合支所	90,000	81,294	171,294
高輪地区総合支所	105,000	103,019	208,019
芝浦港南地区総合支所	96,000	77,382	173,382
計	480,000	432,227	912,227